

トピックス

◆ クラーク外相がソ連訪問 軍備管理、貿易などで協議

クラーク外務大臣が、三月三十日から四月七日までソ連を訪問、グロムイコ外相、アルヒポフ第一副首相らと会談したほか、極地科学研究所、科学アカデミー・シベリア支部などで両国共通の関心事について意見を交わした。



Andrew Vaughan
グロムイコ外相の出迎えを受けるクラーク外相。(左)

グロムイコ外相との会談では、文化・科学・教育面での公式交流の再開、軍備管理、人権、貿易といった問題が話し合われた。

軍事問題では、クラーク外相は弾道ミサイル防衛（BMD）システムに関するソ連の動きにかなり関心、カナダは他のNATO諸国とともに米国のBMDシステム（戦略防衛構想「SDI」）研究を支持する、と述べた。またカナダ北方で米国が行なっている巡航ミサイル実験について、クラーク外相は実験中のミサイルには弾頭をつけていないと説明するとともに、カ

ナダは核兵器開発の能力をもちながらその方向に進まなかった数少ない国のひとつである、と強調した。

クラーク外相がソ連における人権問題や不満分子の取り扱いに関するカナダの懸念を表明したことに対し、グロムイコ外相は国内問題だとして取り合わなかった。

軍備と人権問題では合意に達しなかつたが、両外相とも貿易と交流計画については二国間接触の増大が有用であることを認めた。

アルヒポフ第一副首相との会談では、同副首相が来年期限切れとなるカナダとの小麦購入協定（八二年締結）を更新するというソ連の意向を伝えた。

そのほか、クラーク外相は、酸性雨に関する合同シンポジウムを来年開催しようというソ連の提案に同意した。

◆ カナダの消防飛行艇が活躍 ガラバゴス諸島の山火事

珍しい動植物で知られるガラバゴス諸島イラベラ島の山火事は、四月中旬、七週間ぶりにようやく鎮火したが、これにはカナダの消防飛行艇が大きな役割を果たした。消火活動に参加したのは二機。近くのバルトラ島から一日百五十

回も往復、一機当り四百万トンの海水を火災現場に散布した。さしもの火事も、エクアドル陸軍特殊部隊が掘った延長七千口余りの防火溝と空からの海水散布、それに雨に助けられて、無事鎮火した。



どういふ消防飛行艇が使われたか明らかでないが、カナダは森林火災に備えて、CL-215多用用途陸用機（カナデア社製、写真）など優秀な消防飛行艇を開発・生産している。

◆ 中国に石油技術で協力

カナダは三月末、中国と石油開発技術協力プロジェクト（総額六百三十万ドル）に関する取決めに調印した。

プロジェクトは、中国石油産産省が北京近郊で進めている二つの油田開発の計画・実行能力を高めるのが目的で、ワックス含有量の多い原油の回収率を高めるための油田エネルギー節約システムと、凝縮石油と天然ガスの回収率を高めるためのエンジニアリング・システムを開発する二つのフェーズを調査が行なわれる。合意

の中にはまた、四十二人の中国人専門家を訓練することも入っている。

◆ 日加研究賞に筑波大グループ

昨年十二月に設立が発表された日加研究賞の第一回受賞者に、筑波大学社会学系系の佐藤英夫教授のグループが決まった。研究テーマは「日加経済関係の構造」。

日加研究賞は、カナダ政府がカナダまたは日加関係についてオリジナルな研究を実施しようとする日本の大学または研究機関に与えるもので、賞金額は出版費を含めて最高五万ドル。

◆ トヨタの部品工場が完成 アルミホイールを生産

カナダ政府やブリティッシュ・コロンビア州政府の誘致を受けて八三年春に設立された、トヨタ自動車車の全額出資子会社「カナディアン・オートパーツ・トヨタ」のアルミホイール工場がこのほど完成、四月一日、現地で開所式が行なわれた。

BC州バンクーバー近郊のティルバリー工業団地に建設されたこの工場は、約六万平方メートルの敷地に四千八百平方メートルの建て屋。従業員は当初二十五人で、月間二万本のアルミホイールを生産することになっている。

製品の七五パーセントは日本に輸出して北米向けの自動車に装備

し、残りはカナダ国内や米国で補修部品などとして利用する。

開所式には、トヨタの豊田英二会長、豊田章一郎社長、カナダ政府のステイブンス地域産業振興大臣、BC州のベネット首相らが参加した。

◆ 平岩東電会長に第一号 カナダ原子力協会の国際賞

東京電力の平岩外四会長が、このほど、カナダ原子力協会から「国際賞」を授与された。これは、ウラン開発や電力会社など、百七十の団体でつくるカナダ原子力協会が世界の原子力産業の振興に寄与し、同時にカナダの原子力産業に貢献した人を表彰するため、同協会設立二十五周年を記念して創設した賞で、平岩氏は受賞第一号。

日本は原子力発電用天然ウランの三〇パーセント、東京電力の場合はその七五パーセントをカナダに依存しており、平岩氏の受賞は同氏の電力開発への貢献とともに東電のカナダからの長期的なウラン輸入が認められたもの。

◆ 安全なシートベルト オタワの企業が研究

カナダでは、二州（プリンス・エドワード・アイランドとアルバータ）を除く全国で、運転手にシートベルトの着用が義務づけられているが、シートベルトをつけても運転手や乗客が死亡あるいは負